

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月20日

事業所名 おはなハウス

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			制作活動、運動遊びや、外遊びに分かれたり等工夫している。	成長とともに手狭になると思われるが、集団で楽しめる活動等工夫して活動していきます。
	2 職員の配置数は適切である	○			一人一人しっかり向き合えるような体制を心掛けている	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		安全面に注意し支援を行っている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングを行い情報共有している	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに公開している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者による評価は行っていない
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			事業所内研修を定期定期に行っている	外部研修に参加できるようにしていく	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントや関係機関からの情報をもとに支援計画書を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			ミーティングで話し合い決めている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に合わせた活動を心がけている。またその日の状況に応じても活動を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			その時に応じ、お出かけや、クッキング、課題等考え、支援をしている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの特性やニーズに合わせて作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援前に前日の振り返りとその日の利用者の確認等をしている。	参加できない職員には書面等で周知していく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○			翌日振り返りしている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			その日の様子、気づいた点等を記録している	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングを行い計画書の見直しを行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○					
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者が参加している	必要に応じて他の職員も参加できるよう体制を整えていく
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校への送迎時、先生との情報交換を行っている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			○	現在、医療的ケアを必要とする児童がいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	現在、該当する児童がいない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			担当者会議に参加したり、連絡等で助言を得ている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			児童館や公園等へ外出する機会は作っている	交流や活動する機会がないので、交流できる機会を作っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			分科会には参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や送迎時に情報交換している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			連絡帳や送迎時に必要に応じて対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		意見を聞きながら検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○		長期休暇の時は事前に行事や活動についてお知らせをしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報取り扱いの同意書をいただき他機関と情報共有する際には了解を得るようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			子どもやよっては絵カードなど使い意思疎通ができるよう対応している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		地域に開かれた事業運営に向け取り組んでいく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			感染対策、災害時等の研修や訓練等は行っている	マニュアル等に直しを行い、職員や保護者に周知していく。今後子どもを含め避難訓練等実施できるよう工夫していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				虐待防止委員会を設置し年1回以上の研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				現在、該当する児童がいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				保護者を通じて情報を得て対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				